

2017年2月3日

大学院数学専攻長 殿  
大学院数学関連専攻長 殿  
数学関連学科長/コース長 殿

〒110-0016  
東京都台東区台東 1-34-8  
一般社団法人 日本数学会  
「数学通信」編集委員会  
委員長 徳永浩雄

拝 啓

春寒の候、皆様におかれましてはますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、すでにご存知のこととは思いますが、日本数学会では1997年度以降毎年、雑誌「数学通信」に「修士および博士論文」の項目を設け、論文提出者名と論文タイトルを掲載しております。

昨年12月8日付けの書簡においてご連絡いたしました、今年度もこの企画を継続します。貴教室において、2016年4月1日から2017年3月31日の期間に授与された数学を内容とする修士、課程博士および論文博士がございましたら、それぞれについて、  
論文提出者氏名、論文タイトル

をお知らせ頂ければ、まことに幸いです。また、すでに12月8日付けの書簡におきましてご説明いたしましたが、昨年度同様に、今回も

- (1) 論文提出者の掲載承諾書を集めていただくこと
- (2) 論文提出者名と論文タイトルデータをTeX形式のファイルとして電子メールによって送付していただくこと

の2点につきまして、よろしくお願い申し上げます。

(1) **(掲載承諾書)** 修士論文用および博士論文用の掲載承諾書を論文提出者各々から集めていただき、**教室でまとめて郵便で3月31日までに**日本数学会事務局あてにお送りください。承諾書の用紙はURL

<http://mathsoc.jp/publication/tushin/thesis/>

においてあります。

(2) **(データの電子的送付)** 数式などの掲載を正確に行うためと事務作業軽減のために、2005年度からLaTeX形式のファイルとして電子メールでデータをお送りいただいております。そのためのスタイルファイル

thesis06a.sty

をサンプルファイルとともにURL

<http://mathsoc.jp/publication/tushin/thesis/>

においてあります。このスタイルファイルで作成していただきましたLaTeXソースファイルとPDFファイル（またはdviファイル）を電子メールで

**thesis@mathsoc.jp**

に3月31日までにお送りください。ファイル名はできるかぎり教室名が分るものをお使いいただき、添付ファイルとしてお送りください（承諾書は郵送でお願いします）。なお、タイトルにつきましては、間違いのないように何卒ご協力をお願い申し上げます（例年、英語のスペルミスなどございます）。

今回の結果を5月20日頃に発送予定の「数学通信」22巻1号に掲載して、ご報告いたします。これが各地の大学院における数学の研究動向を知る一助になり、また若手研究者が同じテーマに興味を持つ仲間を得て研究を進展させるように利用することなどを期待しております。このような趣旨ですので、どうかご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この手紙は、昨年12月8日付けで書簡を送らせていただいた数学専攻長・数学関連専攻長・数学関連学科長/コース長の皆様全員あてに発送させていただいております。中には、既にデータさらに承諾書もお送りいただいた大学もございます。その際は重複してのお願いになり甚だ恐縮ですが、今回のお願いにつきましてはご放念ください。

敬 具

**連絡先・照会先**

日本数学会事務局

〒110-0016 東京都台東区台東1-34-8

または

電子メール： **thesis@mathsoc.jp**